

『フォーラム これからの公衆衛生』  
—医療・介護・保健とまちづくりの融合—

我が国では人類未踏の超少子高齢社会、過疎化・地域格差拡大、環境・エネルギー問題などの社会的課題を抱え、公衆衛生 Public Health の一層の活躍が求められています。生活の基盤となるまちづくりと融合した形で、医療、介護、保健がより効果的、より包括的に提供されるシステムづくりも、公衆衛生の重要な役割です。新たな形に変わりゆく社会において、領域を超えた協働やコミュニケーション、データや技術の活用などが展開し、公衆衛生のフレームワークの進化も求められます。そこで、これから超少子高齢等の進む社会でより一層大きくなる公衆衛生活動ニーズに対応するための研鑽の場の一つとして、当フォーラムを開催致します。奮ってご参加ください。

主催・共催：日本公衆衛生学会 教育・生涯学習委員会、専門職委員会

日時：2014年3月20日（木）13～17時

会場：東京医科歯科大学3号館2階 医学科講義室1 （約180名収容可能）

参加費：会員1,000円 本学会認定公衆衛生専門家 無料 会員以外 2,000円

その他：研修会参加者に修了書授与、公衆衛生学会認定専門家制度クレジット(20点)提供

申込方法：添付の申込用紙に必要事項を記載の上、2月20日までに日本公衆衛生学会事務局あてにFAXしてください。【事前登録必須】

プログラム：

○ 開会の挨拶

今中 雄一（日本公衆衛生学会 教育・生涯学習委員会委員長／京都大学教授）

高野 健人（日本公衆衛生学会 専門職委員会委員長／東京医科歯科大学教授）

○ 報告Ⅰ．『公衆衛生コンピテンシーの展開：育成・政策の視点から』

曾根 智史（国立保健医療科学院企画調整主幹）

○ 報告Ⅱ．『公衆衛生コンピテンシーの展開：多部門連携と災害支援の視点から』

中村 桂子（東京医科歯科大学国際保健医療協力学准教授）

○ 基調講演．『課題解決先進国のヴィジョンとアクション』

辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授、元厚生労働事務次官）

○ パネル・ディスカッション

司会：住友眞佐美（東京都健康安全研究センター 所長）

パネリスト：

辻 哲夫

曾根 智史

中村 桂子

秋山 浩保（柏市 市長）

菅原 弘子（NPO 法人地域ケア政策ネットワーク／認知症サポーターキャラバン／事務局長）

○ 閉会の挨拶

フォーラム：これからの公衆衛生—医療・介護・保健とまちづくりの融合—

2014年3月20日（木）

参加をご希望される方は必要事項を明記の上、2月20日までにお申し込みください。

FAX 03-3352-4605

日本公衆衛生学会教育・生涯学習委員会主催

## 参加申込書

### 【申込者】

ふりがな（ \_\_\_\_\_ ）

1. 氏名 \_\_\_\_\_

所属機関 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_ (医師・歯科医師・保健師等) 役職 \_\_\_\_\_ (課長・講師・助教等)

連絡先住所 〒 \_\_\_\_\_

（勤務先・自宅）どちらかに○をつけてください。

Tel. \_\_\_\_\_ Fax. \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

2. 参加費用（該当する金額に○を付けて下さい。交通費、宿泊費等は別途自己負担です。）

会員 1,000円 本学会認定公衆衛生専門家 無料 会員以外 2,000円

受講が決定したら振込用紙を送付しますので、参加費用をお振込下さい。

入金を確認次第、受講通知をお送りいたします。

いただいた参加費用はお返しできませんので、ご承知下さい。

会員No. \_\_\_\_\_ 認定専門家No. \_\_\_\_\_

この度は本研修会にお申し込みいただきまして有り難うございました。

**問合せ先**：日本公衆衛生学会 事務局

TEL 03-3352-4338 FAX 03-3352-4605 E-mail phgakkai@jpha.or.jp